

Xanthium occidentale

オオオナモミが語るもの

2025.4.19 sat. — 6.22 san.

奈義町現代美術館ギャラリー

Yukiko Iwatani

岩谷雪子



Xanthium occidentale

オオオナモミが語るもの

この度、奈義町現代美術館は企画展『岩谷雪子 Xanthium occidentale オオオナモミが語るもの』を開催する運びとなりました。岩谷雪子は植物を使って緻密で繊細な立体造形やインスタレーション作品を制作し、精力的な活動を展開している造形作家です。その作風は、全国に分布している雑草と呼ばれる植物に着目し、注意深く丹念にリサーチを繰り返し、普段見過ごしてしまいがちなそれらの植物の造形的な魅力やその特質、歴史的背景等を見出し、そこから感じとったものを損なわないように再構築させたインスタレーション作品が特徴です。本展は、1929年（昭和4年）に岡山県内で初めて確認され、今では全国に広まっている外来種の植物「オオオナモミ（大葉耳）」を岩谷が全国から集めて制作した大掛かりなインスタレーション作品の展覧会になります。岡山ゆかりの植物を通して人と自然（植物）が共存していくことの意味を実感する機会になれば幸いです。



オオオナモミ（岐阜県、和歌山県、大阪府、東京都）



オオオナモミのカップ 2025



ヤマズメノヒエ

入館料：一般・大学生 200 円（高校生以下・75 歳以上は無料）
※常設との共通の場合は通常料金 700 円で企画展もご覧頂けます。

◎関連企画 岩谷雪子アーティスト・トーク

4月20日（日）、6月22日（日） 14:30～ 美術館ギャラリー
作品の前で岩谷雪子氏が自作について語ります。

※学芸員によるギャラリー・トーク（会期中随時）

ご希望の方に学芸員が作品解説をいたします。
尚、学芸員不在の場合もありますのでご了承下さい。

◎作家来館日 4月19日（土）、
4月20日（日）、6月22日（日）

主催・問合せ先：奈義町現代美術館 学芸図書課
〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町豊沢 441
Tel.0868-36-5811 / Fax.0868-36-5855
e-mail:nagimoca@town.nagi.lg.jp



Web site



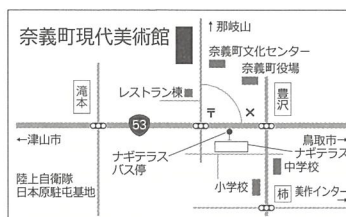
Instagram

岩谷雪子 Yukiko Iwatani

1958 北海道生まれ 1981 武蔵野美術大学日本画科卒業 高知県在住。
植物を地球上で我々と共存する最も重要な存在の一つと捉え、採集した植物で作品を制作。
〈近年の主な展覧会〉
2014「岩谷雪子・田島征三展」絵本と木の葉の美術館（新潟）
2015「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」（新潟）
2017「Moving Plants」Rønnebaksholm（デンマーク）
2017 個展「眠れぬ夜の植物たちの囁き」The Third Gallery Aya（大阪）
2018「BIWAKO ビエンナーレ」（滋賀）
2019「六甲ミーツアート 2019」（兵庫）
2021 個展「植物たちの苛立ち 2021」The Third Gallery Aya（大阪）
2021「六甲ミーツアート 2021」（兵庫）
2022「MIND TRAIL」（奈良）
2022「はならあと 2022」（奈良）
2024「現代地方譚 11 アーティスト イン レジデンス須崎」（高知）
2024 個展 Breaker Project「西成で植物を採集するということ」（大阪）
2024「語り合う相手としての自然」東川町せんとびゅあ（北海道）
2024「植物たちの声を聴くー岩谷雪子の世界ー」練馬区立牧野記念庭園（東京）
2024「眠れよい子よよい子の眠る／ところ」神奈川県民ホールギャラリー（神奈川）
2025「岩谷雪子 Xanthium occidentale オオオナモミが語るもの」奈義町現代美術館（岡山）
2019 六甲ミーツアート 2019 公募大賞グランプリ

交通機関ご案内

- 岡山駅より約2時間30分
JR岡山駅（津山線）→津山駅（バス、タクシー）→美術館
- 岡山桃太郎空港より約2時間
岡山桃太郎空港（乗合タクシー）→津山駅（バス、タクシー）→美術館
- 大阪駅より約3時間
大阪駅JR高速バスターミナル発、新大阪駅経由→美作インター停留所（バス、タクシー）→美術館



奈義町現代美術館